

# 平成 24 年度事業計画書

## 1. 24 年度事業実施の方針

昨年 3 月の東日本大震災は、私たちに大きな衝撃を与えました。この事は、全世界に波及し、大変重要な出来事であることも意味しております。そして私たちを取り巻く社会も大きく変化しようとしております。又、そうでなくてはならないと、誰もが思っているでしょう。

このような内外に懸念が山積している現状の中で、ご来館いただくお客様のニーズの多様化や高度化、また、博物館の運営環境の変化等々、適切な取り組みをしていくには、なかなか困難な舵取りを迫られております。

今年は、当館開館 20 周年の記念すべき年にあたります。博物館らしい思い出に残る周年記念事業を考慮しております。年間事業も運営資金とすり合わせ、極力押さえた内容でございます。

24 年秋には、勝山市平泉寺のガイドンス施設「まほろば」がオープンいたします。これを機に勝山市と連携を図るため、福井大学教育地域科学部博物館学教授 宇野文男先生を中心に連携検討委員会をたちあげる事ができました。素案などだいぶ煮詰まってまいりました。

勝山市との連携成立後は、展示内容等も更に強化し、全館を定期的に魅力あるものとするため、引き続き検討委員会の方々と評価など分析しながら、運営に力を注いで行くことを望んでおります。

この勝山市との連携の目的は、沢山の山の人々に足を運んでもらうことにあります。勝山市には、多くの歴史遺産や文化遺産が存在しますが、それらを一同に展示したり収蔵したりする博物館機能を有する施設がありません。そこで勝山市にある唯一の歴史系の当館にそれらを展示公開することにより、その目的の達成を目指しております。

そして、勝山市も当館も連携していくことで、新たな展示や更なる来館者増に繋げ、相互にメリットがあるようにし、それなりの組織体制も必要と考えられますし、他の施設の観光部局と調整をもはかってまいりたいと思います。

今後、順調に進むことが出来れば、開館 20 周年記念式典に答申記者発表、展示改修工事後の 25 年秋、平泉寺ガイドンス施設「まほろば」1 周年記念のイベントにあわせて、勝山市に賃貸する当館 1 階スペースをオープンする計画を予定しております。

懸案となっております新公益法人認定の件は、今後 3 月末までに福井県教育委員会の担当者へ移行認定申請書の素案を提出、確認をとりました後、6 月の理事会・評議員会にてご承認をいただき、9 月に開催される県の公益認定委員会に移行認定申請書を提出、審査を受けます。遅滞なく無事認定がいただけますようお願いしております。

今年は、開館 20 周年記念事業と勝山市との連携に重点を置き、キラリッと光るミュージアム活動に向かって、夢を失わず前進してまいります。

## 2. 事業の概要

### (1) 主な事業

#### ① 平成お天守塾「勝山城清明茶会」

日 程 平成24年4月22日(日)  
会 場 蘭月の間、2階障壁面前、庭園東屋、渡り櫓  
開催の趣旨 毎年好評を得ている茶会「清明茶会」も6回目になります。勝山市茶道連合会や福井市閑友会に加え、今年は越前市から裏千家和敬会(宇野宗春)を迎えて、各流派それぞれの流儀の特色を生かし濃茶席・薄茶席・野点席・点心席を設けた茶会を開きたいと思えます。お茶事を通じて、新聞・テレビ等のマスコミ関係及び各市町村に当館を取り上げて広報していただき、福井県内外に当館の名のイメージアップや当館の存在を再認識させ、また、当館のお茶会ならぜひ出席したいと思っていただけることを目指し、さらに発展させていきたいと思えます。

#### ② 開館20周年記念ポスター・写真展「20年の歩み」

日 程 7月～10月  
会 場 2階渡櫓  
内 容 20年間を振り返る材料として催し事のポスターや写真などを中心に展示する

#### ③ 特別展「勝山・大野の家紋」(仮題)

会 期 平成24年7月24日(火)～9月25日(火)64日間  
会期中無休館  
会 場 4階特設会場  
展示の趣旨 勝山や大野に残る家紋の入った資料を通して家紋の成り立ち、歴史、使われ方などを紹介する。  
展 示 資 料 ・小笠原家・土井家の家紋入り什器、旗、武具等

#### ④ 納涼花火大会見物&ナイトミュージアム

日 程 8月14日(日)午後7時から9時30分まで  
花火見物は午後8時から9時まで、6・5階展望台から。  
展示室も観覧できます。夜見る甲冑は昼以上に不気味さを増しています。そのような切り口から甲冑や武具の美に興味をいただければと思えます。ソフトクリーム等も販売できればと思えます。

⑤ 開館 20 周年記念式典

日 程 10 月 7 日  
会 場 4 階ホール及び 2 階ホール  
担 当 福井テレビ事業部  
内 容 20 年間お世話になった方を表彰、アトラクション(古典落語)、パーティ等

⑥ 開館 20 周年記念事業 「大杉真司絵画展」(仮題)

日 程 10 月上旬から 3 週間程度  
(20 周年記念式典会場との関係で  
日程変更の場合あり)

会 場 4 階特設会場

(略歴) 1968 年生まれ。

1996 年と 1999 年にギリシャ、フランス、アメリカ、  
スイス等へデッサン旅行。また 2004 年にはフランス  
へデッサン旅行を行う。

京都を中心に舞妓をテーマにした絵画の制作を行  
っており、舞妓の生活風景や日常を油彩で描く。

2000 年「太陽と舞妓」2002 年「星座と舞妓」

2004 年 フランスデッサン旅行、「夕焼けと舞妓」  
シリーズを描いている。

2007 年 阪神百貨店にて個展開催 日動画廊「昭和会展」入選



⑦ シャトー・コンサート 2012

日 程 9 月下旬から 10 月上旬の土曜日夜 6 時半から 8 時半  
会 場 2 階障壁画前

主 催 福井合奏団 (代表東海千浪氏)・勝山城博物館共催

趣 旨 シャトー・コンサートは、平成 8 年に初めて当館で開か  
れてからもう 17 回目を迎えます。毎年 9 月にお城の中で開  
かれるクラシックコンサートは恒例のものとなりました。  
大障壁画に囲まれて聴くクラシックのファンも多くなって  
います。

⑧ 開館 20 周年記念事業 「勝山城博物館写真コンテストと展示会」(仮題)

日 程 10 月～11 月

会 場 2 階ホール

内 容 一般から勝山城博物館にちなんだ写真をコンテスト形式で募  
集し、最優秀・優秀・秀作・佳作など 30 点ほどを選定し、一定期間展  
示する。応募は Web からの申し込みとする。チラシ・ポスターも製作

する。

⑨ 平成お天守塾「第7回 越前勝山城絵画作品展 お城を描こう」

開催予定 絵画作品募集期間 6月中旬～10月上旬

表彰式 11月4日(日)午後 2階障壁面前

石川豊子氏講演会(開館20周年記念事業)

展示会 11月4日(日)～平成24年11月25日(22日間)

開催の趣旨 子供たちの豊かな想像性を育てる目的で創設した平成お天守塾の事業の一つとして開催する絵画作品展です。県内外の幼稚園・保育園・小中学校から広く募集し、表彰・展示します。「ふるさとのお城」を描くことによって生まれる郷土の歴史への関心、引いてはふるさとを愛する心にも結び付けばと始まったこの作品展も7回目を迎えます。昨年は800点近い作品が集まり、遠くは埼玉県あたりからの応募もあり、また、勝山城博物館に来て写生する姿も多くなり、徐々に子供たちの中にふるさとのお城に対する興味も湧いてきているのではと思います。勝山市エコミュージアム「わがまち魅力醸成事業」に助成金申請予定。

(石川豊子さん略歴)大阪生まれ。テレビ局アナウンサー出身で、現在に至るまで、ニュース、CMはもちろんテレビワイドショー番組やラジオ番組を手掛け、あらゆるジャンルをこなす。また、豊富な経験から料理・育児・教育・古典芸能といった方面の番組や講演が多い。

1990年、国際花と緑の博覧会では、「セキレイ・テレビ大阪ログガーデン」パビリオンのプレイングマネージャーとして、司会とプロデューサーを兼任し6ヶ月間にテレビ番組として287組の結婚式を放送した。

また、1995年、「APEC大阪会議プレスセンターの三千家「お茶席」をプロデュース。

長年のノウハウを生かして、人材育成、話し方教室、マナー教室、コミュニケーションの教育研修、古典芸能の公演、イベント企画実施を目的とした「有限会社石川企画」を設立。アナウンサーの体験から得たものをバトンタッチすべく、翌年1996年には、石川豊子ことば塾を開校。

父は人間国宝、地唄舞 吉村流四世家元・故 吉村雄輝。本人も吉村流の名取で吉村雄貴を名乗る。

2007年からは大阪芸術大学の講師を務め、翌2008年には教授に就任する。

⑩ 新春特別陳列 館蔵品展「紀州徳川家ゆかりの品々」

日 程 平成25年1月1日(火)～1月20日(日)

会 場 3階常設展示室の一部展示の趣旨

趣 旨 毎年恒例になった正月の新春館蔵品展です。平泉寺への

初詣に来られた方に当館の普段公開していない資料を見てもらえればと思います。

展示資料 ・紺糸威総練革五枚胴具足・刀 銘正宗（蠟色塗拵も展示）

- ・刀 無銘来国俊（蠟色塗拵も展示）・梨地金蒔絵葵紋散し薙刀拵
- ・十文字槍 銘山城国住下坂作・同上拵 葵紋入り鞘・白綸子地花筏文様小袖
- ・犬追物図屏風・川中島合戦図屏風・賤ヶ岳合戦図屏風

## （2）主な文化・貸館事業

### ①月例茶会の開催

期 間 7回（5月から11月までの毎月第一日曜日）

会 場 2階和室「蘭月の間」

主催者 勝山市茶道連合会（荒井敏子代表）・勝山城博物館共催

来館者等でお茶を希望する方に、抹茶（月によっては煎茶）を有料で提供しています。これは博物館の行う文化活動の一環として、茶道に親しみ博物館への理解を深めてもらうための行事です。平成15年10月に始め、今年で10年目となります。

その他 5月25日から27日まで第20回環境自治体会議かつやま会議が開催され、2,000人近い方が参加される予定で、LED照明に切り替えた当館にも多くの来館者が来られます。その他ピアノ教室発表会などいくつかの予定も入っております。

随時当館の文化事業として相応しいイベントその他催し事や貸館の申し込みを受け付け、また、さらに多くの申し込みがあるように積極的に働きかけていきます。なお、蘭月の間近くの渡り櫓を会議や小展示を行えるフロアとして開放しておりますので、より利用者も増えるものと思われま

## （3）学芸活動

①引き続き大規模な燻蒸は見送り、害虫やカビの発生を予防するため殺虫剤の設置や清掃等の日常管理を徹底して行い、貴重な館蔵資料の保存に努めたい。

②館蔵の資料をはじめ勝山市や大野市に残る歴史資料や武具、また地元ゆかりの芸術家等の調査・研究を進めて、常設展示では補えない地元密着した展示展開を特別展や企画展といった形で図ります。

③武具や城郭に関する参考資料の調査・収集を進め、参考資料の収集量と研究内容によって、資料の調査研究や学校教育等の授業に利用してもらえるような側面を持った施設を目指します。

#### (4) 勝山城友の会活動

- ①ステンドグラス作り講習会 5月
- ②春の館外研修旅行 5月(研修部)
- ③館外研修写真アルバムの編集・発行(広報部)
- ④総会・講演会の開催 6月
- ⑤秋の館外研修旅行 11月(研修部)
- ⑥楽しい版画年賀状教室 12月
- ⑦友の会だより第19号の編集・発行(広報部)
- ⑧各事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア(文化部)

#### (5) 広報活動

今年度は20周年記念事業を担当する福井テレビによって各事業がテレビCMで広報される予定です。また、勝山市広報や新聞・テレビなどのマスコミ報道、ポスターやチラシの郵送(福井県内の主要公共施設、北陸三県の博物館等)、インターネットのホームページ等を通じて、主な事業に掲げた当館事業の紹介に努めます。ホームページでは必要に応じて地域の情報を掲載し、地域と共に全国へ情報発信します。北陸三県、滋賀県、名古屋市方面の観光業者に行事予定表やパンフレットを送付し、団体客の利用促進をはかります。

### 3. 財団運営に関する会議の開催

#### (1) 理事会の開催 2回

新年度予算、補正予算その他の議案等の審議、承認のため2月または3月に開催します。

前年度の事業報告・決算報告その他の議案等の審議、承認のため5月または6月に開催します。

#### (2) 評議員会の開催 2回

評議員会は、理事会の開催に準じて2月または3月及び5月または6月に開催します。